

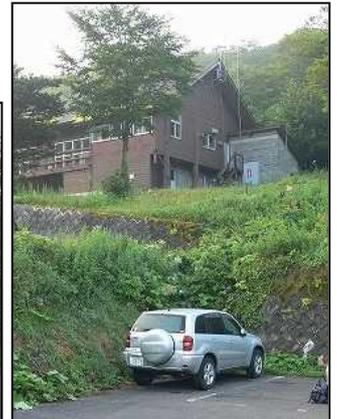
コースタイム	場所	標高	実標高	備考
5:15	河原坊駐車場出発	1075m		空は快晴、雲一つない
6:53~7:00	休憩	1530m		写真を撮りながら登り
7:26	打石	1690m		みんなに追い抜かれる
7:36	千丈が岩	1755m		
7:59~8:30	早池峰山山頂(朝食)	1910m	1917m	すばらしい展望
9:00	五合目御金蔵	1680m		
9:34	小田越まで800m	1405m		
9:52~10:00	小田越	1260m		
10:28	河原坊駐車場	1065m		自動車道を歩く

○5:15河原坊出発。
 ・今日はこの「東北山紀行」最後の山となる早池峰山を登る。

- ・今日も空は快晴。真夏の太陽が顔を出す。青空が美しい。昨日のキャンプ組も皆行動開始した。
- ・登り始めると同時に色々な花々が現れ、撮影に追われてなかなかペースがあがらない。後から登ってくる人にどんどん抜かれてゆく。



河原坊登山口



早朝の河原坊駐車場



岩ごろごろ・ガレ場の登山道

- ・お花の多い草付きを過ぎると今度は垂直に近い急坂のガレ場だ。
- ・頂上付近は石がゴロゴロしており歩きにくいし落石が怖い。よくもこんな危険な道を登るものだと思う。豊富な花々を見ながら、写真に撮りながら楽しく登る。



岩ごろごろ・ガレ場の登山道

・急なガレ場でかなりのパーティーを抜き返して3時間弱で早池峰山の頂上に立った。

- ・快晴の頂上だが周囲はモヤッとして眺望はきかない。岩手山、鳥海山などが見えるはずだが残念ながら見えない。でも花の多いこの早池峰山には大いに満足だ。ただミネウスユキソウは見かけたが早池峰山の固有種ハヤチネウスユキソウはあまり見かけなかった。



早池峰山山頂

- ・下りは小田越ルートをとる。
こちらのルートは河原坊ルートより傾斜がゆるくいくらかは歩きやすいがやはりガレば続きだ。
ウスユキソウ、イブキジャコウソウ、タカネナデシコなどが咲き乱れるガレ場を慎重に下り1時間半で小田越の登山口に到着。
- ・真夏の太陽が照りつける暑い舗装道路を約30分歩いて河原坊の駐車場に付いた。



小田越登山口

*これで今回予定した全山を予定通り無事登り終えた！！

- ・駐車場へ着いたらまずチェアを出してゆっくりと昼食をとって疲労感と満足感に浸る。
- ・さあ今夜はゆっくりと風呂に入り祝杯をあげよう！！ 目指すは「道の駅・上品の郷」

*ところがこれからこの旅の最後を飾る地獄が始まる。

- ・まずカーナビに「道の駅・上品の郷」がない！ 近くにある「道の駅・津山」を指定したら到着が6:15と出た。これでは風呂も飯も難しいぞ、急げ！ところがこれからが誤算続き。
- ・河原坊から細い山道をやっとのことで宮古に出たから、三陸海岸伝いに国道45号線を南下するが、今までのようないい道ではなく、細くくねくね。おまけにお盆休みということで国道は車が多く渋滞気味。途中の道の駅はみな小さい上に海水浴客でごった返していて車が入る余地さえない。先へ急がなければならないし駐車は出来ないしということでトイレも我慢して南下を急いだ。それがいけない！ やっと入ることが出来た途中の道の駅でトイレに駆け込んだが、我慢しすぎたため蛇口が開かない。出たいのに出ないしで中途半端で車に乗り込み先を急ぐ。
- ・これから死ぬ思いの道中が始まった。気仙沼を過ぎるころから渋滞が更にひどくなりほとんど動かなくなったので、カーナビを頼りに本吉町から346号線に入る。346号線は空いていて正解。しかしここから尿意と時間との戦いの道中となる。ここでは詳細記述はやめておくが死ぬ思いでの運転。
- ・なんとか事故にもならず6:15に「道の駅・津山」に到着。何も無い駅。ここで「道の駅・上品の郷」を聞くとすぐ先にあるとのこと。最近出来た駅で、私のカーナビにはまだ登録できていなかった。
- ・やれ助かったと、小便が出ないまま車に乗り込み先を急ぐ。国道45号線を石巻に向けて時速80kmでとばす、が石巻への幹線道路、すぐに渋滞が始まり全く動かなくなる。数kmの道を40分かかってやっと「道の駅・上品の郷」に着いた。こりやすごく立派な道の駅だ、さあ祝杯だ！
- ・ところがレストランは7:30まで、あと30分も無い。小便は出たくて出来ないし祝杯どころではない。あわててざるそばをかきこみ今日の夕食、なんたること。
- ・風呂は立派な温泉で9:00までやっていたので、これはゆっくり入れた。せめてもの幸い。
- ・「道の駅・上品の郷」は新しく出来た立派な建物で、レストラン・温泉を完備しているのでゆっくり止まれば快適な夜を過ごせると思うが、今回わたしは地獄の場だった。尿意と膀胱ポンポンで蛇口が開かず死ぬ思い。風呂や食事どころではなかった。トイレに座って20分以上も絞り出すこと3~4回やっと徐々に回復してきた。
- ・さて寝ようと思っても駐車所は泊まりの車で満杯。この旅のはじめの頃とはえらい違いだ。 やっと止めて寝ようとする、隣の車が回しているエアコンのエンジン音でうるさくて寝られない。静かなところを探して数回移動し、エンジンを掛けていない静かな空間をやっとみつけたのが12:00過ぎだった。

*この旅に出る前から、最後の夜は「道の駅・上品の郷」でゆっくり風呂に入ってビールとうまい食事で乾杯との夢を持ってきたが、とんでもない悪夢の夜を過ごすことになった。



道の駅・上品の郷